

高等学校外国語科学習指導案

日 時 令和 4 年 2 月 13 日 (月)
 第 4 校時 11:50~12:40
 対 象 2 年 A 組 (12 名)
 学校名 北海道上磯高等学校
 授業者 教諭 二田詩穂
 場 所 本校 2 年 A 組教室

1 単元名

コミュニケーション英語Ⅱ「Lesson 6 Becoming the Best」
 教科書：VISTA English CommunicationⅡ New Edition (三省堂)

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

錦織選手へのインタビュー内容の理解を通して、「その人の人物像」「学校生活」などに関連するインタビュー内容を英語で考え、ALTや先生方のインタビューを通して英語でやりとりすることができる。

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読み取るために必要となる how to の意味や働きを理解している。(知識) <p>【話すこと (やり取り)】</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューや、発表をする際に、how to などを用いて話す技能を身につけている。(技能) 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 錦織選手へのインタビュー内容について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 <p>【話すこと (やり取り)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT や先生方へのインタビューの際に、英語でやりとりを続けることができる。 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 錦織選手へのインタビュー内容について書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。 <p>【話すこと (やり取り)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT や先生方へのインタビューの際に、英語でやりとりを続けようとしている。

3 教材観

高等学習指導要領 (平成 30 年告示) 解説【外国語編 英語編】では、育成を目指す資質・能力が4技能5領域で整理され、自分の考えを英語で表現し、英語でコミュニケーションをとることがより重要視されるようになった。

これを受けて、本単元では錦織選手のインタビューの中からメッセージ性のあるものを抜き出し、それを生徒の普段の生活と結びつけるような問いを与え、自分自身の回答を他者と英語で伝え合う活動を行っている。

また、協同学習が重要視されている今、積極的に外部とつながり、いろいろな人とコミュニケーションをとることが重要である。今回を機に北海道、本州、世界へとつながりを広げた学習をしていきたい。

4 生徒観・指導観

人に見られることや、発表などに抵抗がなく、授業に対してやる気をもって取り組むことが出来る集団である。実際の英語の授業では、個人差はあるものの全体に投げかけた質問に対し、ほとんどの場合、個々で

回答が返ってくる。発言が比較的苦手な生徒も、こちらが当てた際には必ず返答が返ってくる。

その一方で、普段の級友間でのコミュニケーションに問題はないものの、グループワークに少し抵抗があり、グループのメンバーによってはうまく機能しないこともあるため、普段の授業内でグループワークの機会を少しずつ増やしていく必要があると考える。

英語という視点で見ると、中学校時代に苦勞した生徒が多いため英語に自信のない生徒がほとんどである。技能別で見れば、話す力、読む力は少しずつついてきていると感じるものの、書く力、聞く力はとても低いいため、継続的な指導が必要である。

5 単元の指導と評価の計画（計9時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価の観点			評価方法
		知	思	態	
導入 (1~5)	<p>■ 錦織選手へのインタビューを読み取ったり聞き取ったりする活動を通して、「その人の人物像」「学校生活」などについて、英語でやりとりをすることができる。</p> <p>① 錦織選手についての理解を深めるため、ICTを用いて情報を集める。</p> <p>② 前回集めた情報を全体で共有する。さらに、本文の概要(Section1)を読み取り、理解を深める。</p> <p>③ 前回の復習を冒頭でした後、「高校生活で勉強以外の学んだこと」について考え、伝え合う。本文の概要(Section2)を読み取り、理解を深める。</p> <p>④ 前回の復習を冒頭でした後、「困難の乗り越え方(進学や就職)」について考え、伝え合う。本文の概要(Section3)を読み取り、理解を深める。</p> <p>⑤ 「自分自身の長所・短所」について考え、伝え合う。</p>	○			ワークシート
展開 (6~8)	<p>⑥ インタビューをするグループを決めた後(3人4グループ)、インタビュー内容を考える。</p> <p>⑦ インタビューの質問内容を Jamboard に記入する。あいづちの表現を使って会話をする練習をする。</p> <p>⑧ インタビューの練習をする。</p>		○	○	ワークシート Jamboard
終末 (9)	<p>⑨ インタビューの撮影を行う。インタビューの回答を Jamboard にまとめ、全体で共有する。最後に振り返りシートに記入する。</p>		○		インタビュー動画

6 本時の展開 (9 / 9 時間目)

(1) Today's Goal

「その人の人物像」「学校生活」などについての質問を、ALT の先生方へのインタビューを通して、あいづちをいれながら英語でやり取りすることができる。

(2) 展開

段階	学習内容・学習活動	生徒の学習活動	学習形態	指導上の留意点
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 		
	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【Today's Goal】 「その人の人物像」「学校生活」などについての質問を、ALT の先生方へのインタビューを通して、あいづちをいれながら英語でやり取りすることができる。</p> </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal を共有 練習(3min) 	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal を理解する グループで流れを確認、そして練習をする(3min) 	<ul style="list-style-type: none"> 全体 グループ 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の先生方も英語のみで会話すること、そして必ずあいづちを使うことを改めて確認する。 動画を撮る順番や、インタビューをする順番などを確認し、1度グループで読み合わせをする。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 先生たち入室・自己紹介 各ブースで撮影しながらメモをとり、インタビューをする 動画を共有ドライブにアップロードし、Jam board に回答を記入する 全体で各グループの回答を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 先生たちの英語での自己紹介を聞く 各ブースに移動し、撮影の準備、メモの準備をした後、インタビューをする 動画を共有ドライブにアップロードし、Jam board に回答を記入する 自分のグループの回答、各グループの回答を見て、まねしてみたい！またはこの考え方がいいな！と思う物をそれぞれ1つずつ決める 	<ul style="list-style-type: none"> 全体 グループ 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の準備が整い次第、こちらの合図で一斉にインタビューを始める。 メモにとりきれなかった部分については、動画を再生するか、または英語で再度質問可とする。回答は必ず日本語でも理解できるようにし、わからない場合は google 翻訳等使用可にする。 教員の方でどのような回答があったかをあらかじめ把握し、全体で共有をする。
終末 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教員から講評をもらう 振り返りシートの記入(forms) 	<ul style="list-style-type: none"> 代表者1人が英語で質問をし、教員からの講評を聞く 振り返りシートの記入をする 	<ul style="list-style-type: none"> 全体 	<ul style="list-style-type: none"> 講評する教員は英語で伝えた後、日本語に訳してもらう。